

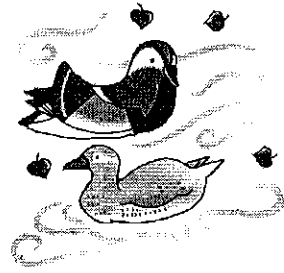
4/23(土)まいど！ 倫々号です。今週の倫理もすばり体験ですネ、
こんな筆があらたですネ、奥さんの愛の深さは海より深いと云い、

今週の倫理 974号 大幸にしましゅう！

2016.4.23 ~ 4.29

幸々運がアホ一息

夫婦愛和が もたらす潤い



四月のテーマ
夫婦道

え・たむらかずみ

前

号の「今週の倫理」では、
夫婦間の愛情が身体の健康

を作り出すことを述べました。今
週も、夫婦と健康に関する、ある
体験を紹介しましょう。

A氏の新婚時代の話です。仕事
柄出張が多く、夫婦で過ごす時間
は少ないものの、努めて妻と会話
をするようにしていました。

当時A氏には、一っただけ悩みが
ありました。冬になると、肌がカ
サカサに乾燥することです。特に
両肩の皮膚がかゆくなり、血が滲
むほど掻きむしってしまうのです。

ある時、出張から戻ったA氏に、
妻が、「肌着に血が付いていたけど、
どうかしたの？」と尋ねました。
A氏は妻に心配かけまいと、その
話をしていなかったのです。

肌が乾燥して痒くなることを話
すと、病院で診てもらおうよう妻に
言われました。しかし、病院嫌いの
A氏は、「忙しいから」と言って
そのまま放置していたのです。

その後も、ことあるごとに病院
へ行くよう妻に言われます。次第
にうるさく思うようになり、夫婦

の会話自体も、少なくなってい
きました。

当時は、仕事上でも多忙な時期
にあり、小さなミスが増えていま
した。そのイライラから、余計に
肩を掻きむしってしまいます。

業務の多忙がピークを迎えた頃、
A氏は上司から食事に誘われまし
た。上司は、仕事が忙しくなると、
妻に感謝するよう心がけていると
言います。「忙しい時ほど、家庭を
顧みないと、良い仕事もできない
からね」という言葉は、まるで、
今の自分の心境を見透かされてい
るようでした。

帰り道、上司の話を思い出しな
がら、自らの家庭生活を顧みたA
氏。これまで「家庭のことは妻が
やって当たり前」という思いでい
たため、結婚以来「ありがとう」
という感謝の言葉すら口にしてい
なかったことに気づいたのです。
妻はそれでも、愚痴一つ言わず
に、笑顔で自分を受け止めてくれ
ていました。妻の気持ちや思うと、
感謝の気持ちをしっかりと言葉で伝
えたいと思ったのです。

帰宅したA氏は、「今しかない」
と思い、妻に話し始めました。

「今日は上司の話を聞いて、家
庭のことを君に押し付けできたこ
とに気づいた。これまで家庭を守
ってくれてありがとう」「いつも話
を聞いてくれてありがとう」「もつ
と君の話を聞くように心がけます。
これからもよろしくお願いま
す」と、三度頭を下げたのです。

頭を上げて妻を見ると、妻はボ
ロボロ涙を流していました。その
姿を見た時、「しまった！ 今まで
我慢させてきたな」と痛切な反省
がA氏に込み上げてきたのです。
そして、自分のすべてを受け止め
続けてくれている妻の愛の深さを
知ったのです。

数日後、肩のかゆみが軽減して
いることに気づきました。鏡で見
ると、きれいに治っていたのです。
A氏は「女房の涙がきれいにして
くれたのか」と思わずにいられま
せんでした。その後、かゆみが出
ることはありませんでした。
夫婦の深い結びつきは、肉体を
も潤す力があるのです。